

第536回番組審議会報告

- 開催日 : 令和7年4月23日(水)
- 場所 : 山形グランドホテル
- 出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/堀内史子 委員/中村 出 委員/齋藤義紀 委員
佐藤善哉 委員/岡崎彌門 委員/黒川和久 委員/中川愛美 委員(リポート参加)
- 議事内容 : ◎委員の委嘱 正副委員長の選任
◎社側報告
1. 挨拶 横沢代表取締役社長
◎審議事項
1. 番組・視聴率関連 後藤 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長
2. 報道・制作関連 黒須 取締役メディア情報局長
3. 番組合評
◇ 山形テレビ開局55周年記念番組
「時代の波に抗えますか ～黒川 能農 物語～」
令和7年4月16日(水) 午後7:00～7:54放送
担当:メディア情報センター コンテンツ担当部長 寒河江 徹
◎その他

内容:

山形テレビの第536回番組審議会が開かれ、山形テレビ開局55周年記念番組「時代の波に抗えますか ～黒川 能農 物語～」を合評しました。

山形県鶴岡市黒川地区で室町時代から500年以上にわたり継承されている国の重要無形民俗文化財・黒川能。農業の神を祭る春日神社の氏子が代々継承し、中央では廃れてしまった古い演目も残ります。約240戸の氏子は「上座」「下座」に分かれて能座を形成し、それぞれ約50人が農業や会社勤めをしながら役者として活動しています。「能」と「農」をいかに守り継承していくのか。伝統的な方法を踏襲する世代と、時代に合わせた継承のあり方を模索する世代。手法は違えど試行錯誤しながら時代の波に抗う人たちを追いました。

委員からは、

「地域の人口減少、少子化、伝統継承、農業など今の日本や地域が抱える課題がギュッと詰まっている良い番組だった」

「真実を伝えるために、言いにくいことも話してもらい、それをカメラにおさめ、そして放送につながるまでができたのは、取材者として信頼関係が築けていたからではないか」

「若い女性や、10代20代の若い人の声も聞いてみたかった」

「暮らしと、主催者側の負担に踏み込んだリアルな取材ができていた。」

「下支えをしている女性たちの不平不満を取り上げている番組は 他にはなく良かった」

「地方というところは、色々なものが継承できなくなっているのを思い知らされた」

「コストや労力で割に合わないとしても、まつりは町としてのアイデンティティーのようなところがあり、重要なものなのだと感じた」

などの意見が出されました。

また、正副委員長の選任が行われ、柳谷豊彦 委員長、相馬佳苗副委員長が再任されました。

以上